

コース名 <心理専門職コース> 発達診断方法論 基礎編コース	2024年度回数 1回	担当者 木下孝司
授業の内容 発達診断と、保育・教育の専門性に基づいた子ども理解には、方法論の相違もありますが、子どもの内面世界を読み解き、その願いや悩みを再発見するという目標は共有されるものです。このコースでは、保育・教育のための発達診断を進めるために必要な、発達理解の基本を確認します。その上で、心理学に必要な子ども理解と実践的な子ども理解を接続する方法論を検討していきます。		
授業の流れ 8月31日（土） 1) 講義 保育・教育のための発達理解の基本 13時～14時30分 発達理論の必要性、発達理解の基本（機能関連、発達関連、発達の原動力と源泉など）を確認して、保育・教育においてそうした発達理解が不可欠であることをお話します。 （休憩20分） 2) ゼミ 発達診断における私の試みと悩み 14時50分～16時 発達診断において、それぞれの方が実践されている工夫や悩みを報告していただき、それらが理論的にもつ意味について議論します。その中で、「発達診断方法論 臨床編」における各自の学びのポイントを整理できればと思います。		